

一般講演・ポスター発表 P-05

## 兵庫県明石市谷八木川における淡水性カメ類の分布

木場俊平・谷口真理・三根佳奈子・亀崎直樹 (神戸市立須磨海浜水族園)

Distribution of Freshwater turtles in Taniyagi river, Akashi City, Hyogo prefecture.

Shunpei Koba, Mari Taniguchi, Kanako Mine and Naoki Kamezaki (Kobe-Suma Aquarium)

兵庫県明石市を流れる谷八木川(全長4.6km)における淡水ガメの分布を明らかにするために、カメ捕獲専用の網でカメを捕獲した。2013年5月13日～16日に網を河口から上流部までに合計延べ314個仕掛けカメを捕獲し、腹甲長を計測した。また、カメの生息密度は1網あたりに捕獲されたカメの個体数(Catch Per Trap, 以下CPT)を用いた。合計で1352匹のカメを捕獲し、内、アカミミガメ821匹(60.7%)、クサガメ500匹(37.0%)、スッポン18匹(1.3%)、イシガメ9匹(0.7%)であった。CPTはアカミミガメ2.6、クサガメ1.6、スッポン0.06、イシガメ0.03であった。河口からの距離(500m)ごとのCPTは、3500mより上流では捕獲されなかったが、その他地点ではアカミミガメとクサガメのCPTが高く、上流部より下流部がより高い傾向であった。一方、スッポン及びイシガメは、500m<河口からの距離 $\leq$ 3000mでわずかに分布するのみであった。腹甲長(平均値 $\pm$ 標準偏差, 個体数, 範囲)は、アカミミガメ $133.4 \pm 39.3$ mm(N=799, 範囲:54.3–228.2), クサガメ $131.2 \pm 37.7$ mm(N=485, 範囲:53.4–202.9), スッポン $116.7 \pm 28.6$ mm (N=15, 範囲:86.6–167.6), イシガメ $129.0 \pm 18.6$ mm(N=7, 範囲:94.1–162.1)であった。スッポン、イシガメはわずかに分布するのみで、若齢個体が捕獲されなかったことから繁殖は正常に行われていないことが示唆された。アカミミガメとクサガメのCPTの関係を示すと、アカミミガメのCPTが高くなるとクサガメのCPTが低くなる傾向があり、両種は共存が困難であることが示唆された。谷八木川においてアカミミガメとクサガメが多く分布したが、今後、クサガメの密度は減少する可能性が示唆された。